

しらべかた あんない No.2

れ き し

調布の歴史の
しらべ方

小・中学生のしらべものにつかえる本を紹介（しょうかい）します。

さがすときのみかた

タイトルです。

本についているラベルの番号（ばんごう）です。

・『図説 調布の歴史』 調布市 2000 (213 ㊦) ●

大人むけですが、絵や写真がたくさんあって、しらべものにつかえます。

本の説明（せつめい）です。

●…中央図書館4階子ども室地域資料コーナーにあります。

○…中央図書館5階地域資料コーナーにあります。

分館でさがすときには、カウンターで聞いて下さい。

Q 調布の歴史

・『子どものための調布市の歴史 第2版』

調布市立図書館 2001 (213 ㊦) ●

子どものために書かれた調布の歴史の本です。調布市にある地名のゆらいや、市内の神社（じんじゃ）などについてもものっています。

・『図説 調布の歴史』 調布市市史編集委員会編 調布市 2000 (213 ㊦) ●

大人むけですが、絵や写真（しゃしん）がたくさんあって、しらべものにつかえます。

・『調布市史』 調布市市史編集委員会編集 調布市 (T 01 210.1-㊦) ○

原始時代（げんしじだい）から現代（げんだい）までの調布市の歴史を書いた上巻（じょうかん）・中巻（ちゅうかん）・下巻（げかん）と、民俗編（みんぞくへん）の4冊（ふんしょう）があります。文章（ぶんしょう）はむずかしいですが、くわしく書かれています。『調布市史索引（さくいん）』(T 01 210.1-㊦) ○を使うと、キーワードや人の名前（な）から、そのことがのっているページ（さが）を探（さが）せます。

・『調布市史年表（ねんぴょう） 第3版』 調布市総務部総務課公文書管理係編集（そうむぶそうむかこうぶんしょかんりがかり）

調布市 2019 (T 01 210.0-チ) ○

原始時代から平成^{へいせい}29(2017)年までの調布についての年表です。歴代^{れきだい}市長をまとめたページなどもあります。

- ・『調布の歴史 改訂』 調布市郷土博物館^{きょうどはくぶつかん} 2002 (210 子) ●

原始時代から昭和^{しょうわ}までの歴史と、「調布の農^{のう}業^{ぎょう}」「宿場^{しゆくば}のくらし」「多摩川^{た ま がわ}とくらし」についてのっています。

- ・『調布の歴史年表 増補版』^{ぞうほばん} 調布市郷土博物館 1983 (213 子) ●

旧石器^{きゅうせつき}時代から昭和時代までの年表です。

Q 学校の歴史

学校が10周年や20周年をむかえたときには、本が出されます。学校ができたときからの歴史が書かれていたり、昔の写真がのっていたりします。

- 例) 『一^{だい}小^{いっ}一^{いっ}調布市立第一^{だいいち}小学校 開校^{かいこう}120周年記念誌^{きねんし}一^{れい}令^わ和^わ2年度^{ねんど}』

開校120周年記念事業実行委員会記念誌部編集 調布市立第一小学校
2020 (376 か) ●

2020年の第一小学校120周年のときに出たものです。

Q 昔の調布の写真

- ・『調布^{こんじゃく}今昔写真集』 調布市教育委員会^{きょういく} 1974 (T 01 748-子) ○

- ・『ふるさと調布ー保存版ー』^{ほぞんばん}

小野崎満・山岡博監修 郷土出版社^{きょうどしゅつばんしゃ} 2015 (213 子) ●

- ・『目で見る調布・狛江^{こまえ}の100年』

田村勝正監修 郷土出版社 2003 (213 メ) ●

- ・ウェブサイト「ちょうふ写真館」(調布市立図書館ホームページ)

<https://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/contents?9&pid=122>

調布市にある駅^{えき}や図書館^{むかし}の昔の写真が見られます。

- ・ウェブサイト「調布市立図書館 市民^{しみん}の手によるまちの資料情報館^{しりょうじょうほうかん}」

<http://lib-machi.chofu.com/>

市民協力員が、調布のいろいろなテーマについてしらべてのせているサイトです。「写真で見る調布の歴史」というコーナーから、調布の古い写真が見られます。

Q むかしのくらし

- ・『調布と私』 調布史談会 1988 (T 01 210.7-チ) ○

調布史談会という会の人たちが、大正から昭和のくらしについて書いている本です。

- ・『調布の戦前』 調布の戦前編集委員会編 調布史談会 2008 (210 チ) ●

「農業」「交通」などテーマにわけて、調布市の人たちが昔のくらしについて話ののっています。

- ・『調布の年中行事 改訂5刷』 調布市郷土博物館 1998 (386 チ) ●

1月から12月までにわけて、調布でおこなわれる年中行事について書かれています。写真ものっています。

- ・『凛としてー市民がたどる調布の女性史ー』

調布の女性史編さん委員会編 調布市 2015 (T 01 367.2-リ) ○

調布に住む女の人たちから、昭和から今に近い時代までのくらしや仕事のことを聞いて、まとめた本です。

Q お寺・神社

- ・『北多摩神社誌』 北多摩神道青年会むらさき会 1976 (T 03 175.9-キ) ○

北多摩地域の神社を紹介した本です。調布にある17の神社がのっています。

- ・『寺院案内』

大野亮徳・林田堯貫編 調布市仏教会 1976 (T 01 185.9-シ) ○

調布市にあるお寺を紹介した本です。それぞれのお寺のところには、写真と地図ものっています。

- ・『寺院名鑑』 調布市仏教会 2009 (T 01 185.9-シ) ○

調布市にあるお寺を紹介した本です。全ページにカラーの写真がのっています。

・『子どものための調布市の歴史 第2版』

調布市立図書館 2001 (213 頁) ●

深大寺、布多天神社のこと、調布にある仏像のことが書かれています。101ページから124ページまでにのっている「調布のお宮めぐり」には、調布市にある神社のなりたちや写真がのっています。

💡 しらべるときのポイント

昭和30(1955)年に、調布町と神代町の二つが一つになって、調布市になりました。調布市ができたあと、じゅんばんに市内の町名(小島町、国領町など)と土地のわけ方が変えられたので、昭和のさいしょと今では、おなじ場所でもちがう名前では呼ばれているところがあります。

たとえば…「染地」は昭和にできた地名で、それまでの小島町、上布田町、下布田町、国領町、上ヶ給の地域の一部が集まってできました。「上ヶ給」は、今はなくなった地名です。

「飛田給」はむかしからある地名ですが、今「飛田給」になっている場所には、昭和のはじめには「上石原」と呼ばれていたところもあります。

『図説 調布の歴史』の264、265ページに、町の名前のうつりかわりが江戸時代からのっているので、住んでいるところの歴史をしらべるときには、見てみてください。『近世調布の村むら』(T 01 210.5-キ) 〇の143ページから151ページにも、古い地名の表がのっています。

5階地域資料コーナーをつかうときの注意

- ・古い本やこわれやすい本もあるので、気をつけてみてください。
- ・しらべものをしている人がたくさんいるので、しずかにつかいましょう。

